

ボランティア・市民活動支援総合基金
ゆめ応援ファンド助成・特別助成 募集要項

2020年12月 東京ボランティア・市民活動センター

※「ゆめ応援ファンド」はボランティア・市民活動支援総合基金の愛称です。

1 趣 旨

東京都内におけるボランティア・市民活動の開発・発展を通じて市民社会の創造をめざすために、地域住民や民間団体のボランティア・市民活動に対し必要な資金の助成を行います。

2 応募資格

- (1) ボランティア・市民活動団体

※法人格の有無は問いません。

※一般社団法人については非営利徹底型のみ対象となります。

非営利徹底型とは、「定款上で剰余金や残余財産の分配を禁止している団体」を指します。

- (2) ボランティア・市民活動を推進している民間非営利団体

※ボランティア・市民活動センターをはじめ、他団体を支援する中間支援組織も含む。

- (3) 主たる活動エリアが東京都内であること

3 助成内容

【A：単年度助成、B：継続助成】（助成総額500万円以内を予定）

下記(1)～(6)のいずれかの事業

- (1) 学習会・研修会の開催 (2) 調査・研究の実施
(3) 器具・器材の開発・購入 (4) 活動にかかわる市民への啓発の実施
(5) ボランティア・市民活動団体による先駆的・モデル的活動 (6) その他

【C：特別助成（新型コロナウイルス対応）】（助成総額120万円以内を予定）

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で必要となった下記に該当する費用で、2021年4月1日以降に支出予定のもの。

- (1) IT通信環境に関わる費用（オンライン通信のためのパソコンの購入、Wi-Fi設置・ルーター購入、オンラインツールの有料プラン費用）
(2) 消耗品費（アルコール除菌物品、マスク、体温計、空気清浄機、加湿器、サーキュレーターなど感染予防に関わる物品）
(3) 会場費

4 助成の種類と金額

A：単年度助成：2021年4月1日～2022年3月31日に事業を実施するもの

1件（1事業）につき50万円以内。

B：継続助成：上記助成内容(5)の場合で、3年間まで（～2024年3月31日）の継続的な事業。

1年につき50万円（＝3年の場合50万円×3年）以内。

ただし、その年ごとに申請し、継続のための選考を受けていただきます。

C：特別助成：2021年4月1日～2022年3月31日に支出を予定しているもの

1団体につき5万円以内。

※ 申請する事業の総額が助成額の上限を超える場合も、そのうち助成希望金額が上限額以内であれば対象となります。また、上限額以内の申請であっても、選考において申請内容の費目、単価や回数数量の見積りを検討し、申請金額のうち一部の助成を決定する場合があります。

5 助成対象にならないもの

【A：単年度助成、B：継続助成】

- (1) 本基金に申請する事業について、他の団体から助成を受けている場合
(現在、他の団体に申請中の場合は、必ずその旨と決定予定時期を付記して下さい。)
- (2) 2021年3月31日以前に終了する(した)事業や購入する(した)器具・器材(財源不足分の補てん)
- (3) 講師謝金や委員謝礼の単価は1名につき3万円までを上限(旅費含む)とし、それを超える部分。
- (4) グループ・団体の管理運営維持に相当する経費(消耗品費、事務用パソコン購入費、家賃、駐車場料金、電話・FAX使用料、材料費、スタッフの人件費、会員への謝金、交通費等)
- (5) グループ・団体の定例化した事業・活動(これまでの事業・活動に新たな取組みや参加の広がりなどを企図した内容であれば対象となります。)
- (6) 自助活動と判断されるもの(周年記念のつどいや記念誌作成、親睦旅行など)
- (7) 多額を要する事業や器具・器材で、一部を助成しても実施や購入の見込みが立たないもの
- (8) 継続的な事業で、一度助成しても次回からの見通しが立ちにくいもの
- (9) グループ・団体の主たる活動範囲が東京都外のもの
- (10) 政治・宗教を主たる活動とする団体の活動

【C：特別助成(新型コロナウイルス対応)】

- (1) 「3 助成内容」で記載しているもの以外の費用
- (2) 支出済みの費用

※ A単年度助成、B継続助成については、本基金の趣旨に基づき、開発的(新しい)・発展的(広がる・深まる)内容や効果が期待できると評価された申請を優先的に助成対象とします。

※ いずれの助成も、反社会的な活動に関わる団体からの申請は受け付けられません。

6 選考及び結果

ゆめ応援ファンド配分委員会にて厳正な選考の上、2021年3月26日(金)に当センターのホームページ上に結果を発表します。併せて直接グループ・団体あてに通知します。助成が決定した場合には4月上旬に助成金を交付する予定です。

7 応募方法

所定の「ゆめ応援ファンド助成申請書」に必要事項を記入の上、郵送で東京ボランティア・市民活動センターまで申請してください。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から持参による提出はお控えくださいますようお願い致します。メールでの申請受付は行いません。

- (1) A単年度助成、B継続助成への応募は1グループ・団体につき、どちらか1件(1事業)

のみ有効です。C特別助成については、AまたはB助成と同時に申請することは可能です。

- (2) 申請書記入要領をご覧になり、必要な添付書類は申請書と合わせて提出して下さい。
- (3) A単年度助成、B継続助成、C特別助成の申請は、それぞれ申請用紙が異なりますのでご注意ください。
- (4) 添付書類を含む申請書類は選考後返却いたしません。
- (5) 申請書に記入・入力する際に、所定欄の枠を縮めたり、広げたりしないように作成してください。申請書の所定欄を改変・増減した場合や、申請書の所定欄に記入・入力せず、別紙参照としている場合等は選考の対象外となりますのでご注意ください。
- (6) 器具・機材の購入の申請をする場合は、A・B・C助成ともに、実際に購入・依頼する業者の見積書やパンフレット等の添付が必要です。また、購入先により価格が一律でないもの（印刷・製本・企画費など）も見積書の添付が必要となります。見積書が添付されていない場合、選考の対象外となります。（ウェブからのプリントアウトも可）
- (7) 法人格を有する団体については、定款を添付してください。

8 応募受付期間

2020年12月11日（金）～2021年1月29日（金）※当日消印有効

ボランティア・市民活動支援総合基金

ゆめ応援ファンド助成・特別助成 申請上の留意点

- ★申請する助成内容A、B、Cにより、助成申請書用紙が異なりますのでご注意ください。
- ★申請書の所定欄を改変・増減させたり、所定欄に記入・入力せず別紙参照としている場合等は、選考の対象外となりますのでご注意ください。
- ★見積書等の添付が必要な申請内容の場合は、必ず添付してください。添付されていない場合は、選考の対象外となります。

A：単年度助成

対象は**2021年4月1日～2022年3月31日に実施する事業に関するもの**です。

助成額は、1件（1事業）につき50万円以内です。

B：継続助成

対象は、ボランティア・市民活動団体による段階的に発展する先駆的・モデル的活動（おもて面の助成内容(5)）の場合で、**最大3年間（～2024年3月31日）の展望が臨まれる継続的な事業**です。

助成額は、1年につき50万円（＝3年の場合50万円×3年）以内です。

ただし、**その年ごとに申請し、継続のための選考を受けていただきます。**

C：特別助成（新型コロナウイルス対応）

対象は、新型コロナウイルスの影響により必要となった物品購入の費用です。

2021年4月1日～2022年3月31日に支出予定のものです。

助成額は、1団体につき5万円以内です。

★申請書類は原則として選考後返却いたしません。申請内容については、応募前に用紙をコピーされるなど、各グループ・団体にて控えをお取りください。

■応募・問合せ先

東京ボランティア・市民活動センター【ゆめ応援ファンド係】
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1（セントラルプラザ10F）
TEL. 03-3235-1171 FAX. 03-3235-0050 ※月曜・祝祭日休

東京ボランティア・市民活動センター

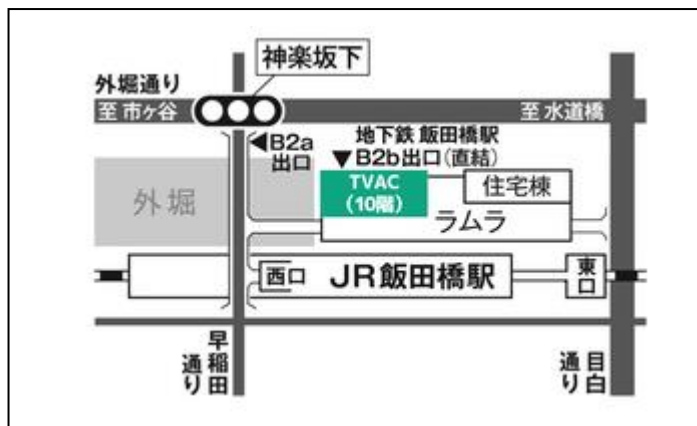
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1

（飯田橋セントラルプラザ10F）

TEL. 03-3235-1171 FAX. 03-3235-0050 ※月曜・祝祭日休

開所時間：火曜～土曜が9:00～21:00、日曜は9:00～17:00

<https://www.tvac.or.jp/tvac/access.html>



J R 総武線飯田橋駅 飯田橋駅西口を出て右折するとすぐ右手に橋があり、その先に見える茶色のビルが飯田橋セントラルプラザです。

地下鉄 有楽町線・南北線・東西線・大江戸線飯田橋駅 B2b出口上りすぐ
※ただしホームより出口まで時間を要する路線があります。